

CC-Link シリアルリモート 空間光伝送装置

SOT-GS8014V-2 GS15014V-2

シリーズ

CC-Link Ver.1.10に対応

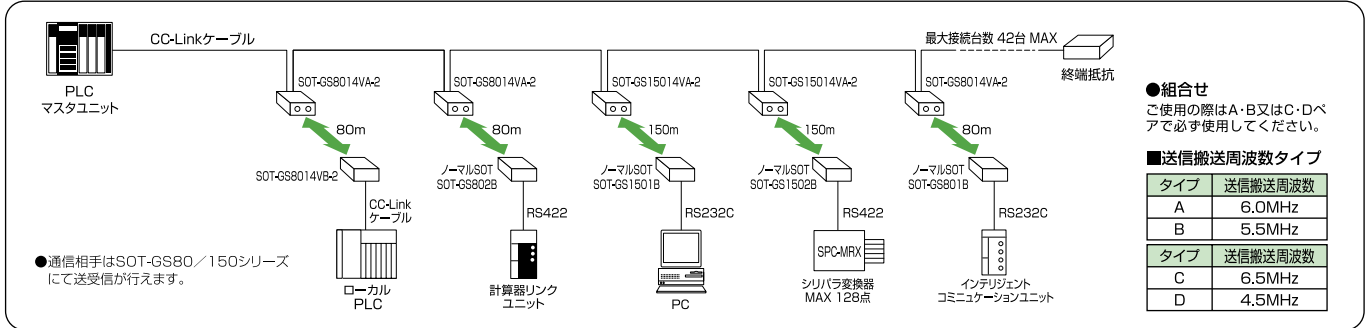
使いやすくライン構築が自由自在になるCC-Link ネットワーク。CC-Linkパートナー製品「空間光伝送装置」は、多数の入出力機器が分散配置されたシステムで省配線によるコストの低減化を図ることができます。特に、自動搬送システムにおいて移動体との通信には威力を発揮します。CC-Linkとダイレクトに接続するため/Fユニットは必要ありません。1台のマスタユニットで、本機を最大42台まで接続できます。1回の交信で最大23ワードのデータを伝送できます。また、拡張モードを使用することにより、最大1000ワードまでのデータ送受信を行います。接続は、端子台コネクタで行います。相手側は当社製空間光伝送装置SOT-GS80シリーズ(80m)又はSOT-GS150シリーズ(150m)にて送受信が行えます。



CC-Linkリモート
SOT-GS8014VB-2

CC-Linkリモート
SOT-GS8014VA-2

■システム構成例



■仕様

●CC-Link仕様

適用 PLC	三菱電機株製 Aシリーズ/QnAシリーズ/Qシリーズ など
適用マスタユニット	AJ61BT11、A1SJ61BT11、AJ61QBT11、 A1SJ61QBT11、QJ61BT11 など
交信方式	Control & Communication Link(CC-Link)
占有局数	1、2、3、4局のいずれかを選択
伝送経路	バス方式
伝送フォーマット	HDLC方式
リンク接続	端子台コネクタ接続
最大伝送距離	1200m(伝送速度に依存)
伝送速度	10M、5M、2.5M、625K、156Kbps のいずれかを選択

●光伝送仕様

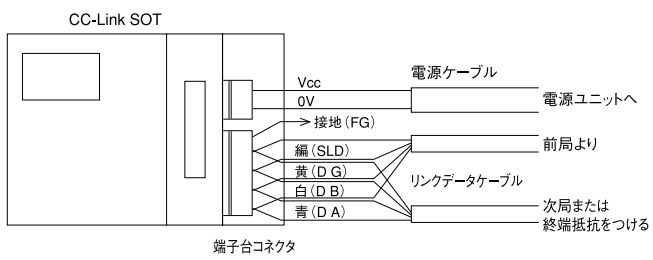
型式	SOT-GS8014V□-2	SOT-GS15014V□-2
電源電圧	DC24V±10% リップル500mVp-p以下	
消費電流	100mA MAX(atDC24V)	
伝送距離	0~80m	0~150m
指向角	2°	1.5°
(水平・垂直)	最大伝送距離の初期値	
変調方式	FSK	
伝送方式	全二重双方向(無手順)	
同期方式	調歩同期方式	
伝送速度	19200/9600/4800/2400bps 設定スイッチにて選択	
光伝送条件	ノーマルモード	拡張モード
スタートビット	1	1
データビット	8	7/8
パリティビット	偶数	無/1(奇/偶)
ストップビット	1	1/2
設定	固定	PCプログラム
表示灯	POW(赤) 電源「入」で点灯 CD(赤) 光伝送受光時点灯 SD(赤)/RD(緑) 光データ送信時赤色点灯 光データ受信時緑色点灯 LEVEL(緑) 受光レベル表示2段階 L RUN(緑) マスタユニットと正常にデータ交信している時点灯 L ERR(赤) CC-Link受信データエラー時点灯 正常交信時消灯 SD(赤) CC-Linkデータ送信時点灯 RD(緑) CC-Linkデータ受信時点灯	
設定スイッチ	伝送速度 ロータリースイッチ1ヶ CC-Linkの伝送速度の設定用 局番設定 ロータリースイッチ2ヶ リモート局番の設定用 伝送条件 ディップスイッチ1ヶ 光伝送条件設定用	
補助出力	CD(受光出力)受光時「0」、遮光時「1」 ALM(受光量低下出力) 受光レベル正常時「0」、低下時「1」 マスタユニットの一括リフレッシュ用受信データエリアに出力します。 (ユーザー領域1,Aを使用する場合は、補助出力はありません)	
接続方式	端子台コネクタ接続 (XW4B-05C1-H1) (XW4B-02C1-H1)	
チェック端子	受光レベル測定可能 10KΩ/V以上のテスターを使用、DC電圧レンジ	
使用周囲温度	-10~50℃	
使用周囲湿度	40~85%RH(但し結露しないこと)	
使用周囲照度	白熱電球、蛍光灯:10000lx以下 (但し外乱光が直接受光部に入らないこと)	
保護構造	IP30	
耐振動性	周波数 10~55Hz 全振幅 1.5mm X・Y・Z 3方向 各2時間	
耐衝撃性	500m/s ² X・Y・Z 3方向 各20回	

- 本装置は全二重双方向の通信を行うため送信と受信の周波数が混信しないようにAタイプとBタイプ、CタイプとDタイプに分けてあります。ご使用の際にはABまたはCDペアで必ず使用してください。ノーマルタイプのSOT-GS80シリーズとSOT-GS150シリーズでは、指向特性が異なりますので、同じシリーズどうしを組み合わせてください。
- SOT-VSタイプとは互換性がありません。SOT-GS※※14VとSOT-GS※※14V-2タイプとは、組み合わせで使用できません。
- 本タイプの詳しい資料を用意しております。ご請求ください。

※□にはA(送信周波数6.0MHz)、B(送信周波数5.5MHz)またはC(送信周波数6.5MHz)、D(送信周波数4.5MHz)が入ります。

■接続

●CC-Link SOTの接続
(CC-Link Ver.1.10で構築下さい。)

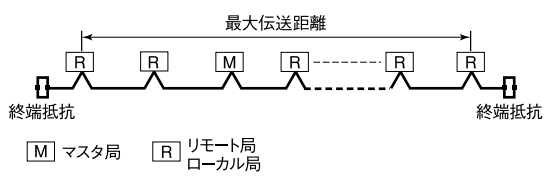


●データリンクケーブルの相互接続 (CC-Link Ver.1.10 仕様の場合)

伝送速度の設定と使用する機器の構成によって局間距離・総延長距離が規定されています。

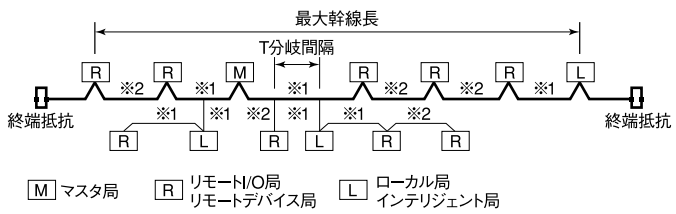
①最大伝送距離

最大伝送速度	156Kbps	625Kbps	2.5Mbps	5Mbps	10Mbps
局間距離	0.3m以上				
最大延長距離	1200m	900m	400m	160m	100m



②T分岐接続の場合

局間ケーブル長	伝送速度		2.5M/5M/10Mbpsは不可
	156Kbps	625Kbps	
マスター・ローカル局 インテリジェントデバイス局と 前後局間 ※1	1m以上		リモート/O局とリモートデバイス局のみのシステム
リモート/O局 リモートデバイス局の間 ※2	2m以上		ローカル局とインテリジェントデバイス局を含めたシステム
支線最大接続台数	6		
最大幹線長	500m	100m	終端抵抗間のケーブル長、支線長は含まない
T分岐間隔	制限なし		
最大支線長	8m		1分岐当たりのケーブル長
総支線長	200m	50m	支線長の合計
終端抵抗	110Ω	1/2W×2	幹線両端のDA-DB間に接続
T分岐端子台/コネクタ	端子台:市販品 コネクタ:FAセンサ用コネクタ		幹線側のケーブルは、被覆をむく部分を短くする



注意 CC-Link Ver.1.10仕様は、システム上のすべての機器及びケーブルがCC-Link Ver.1.10に対応している必要があります。

■外形図

